

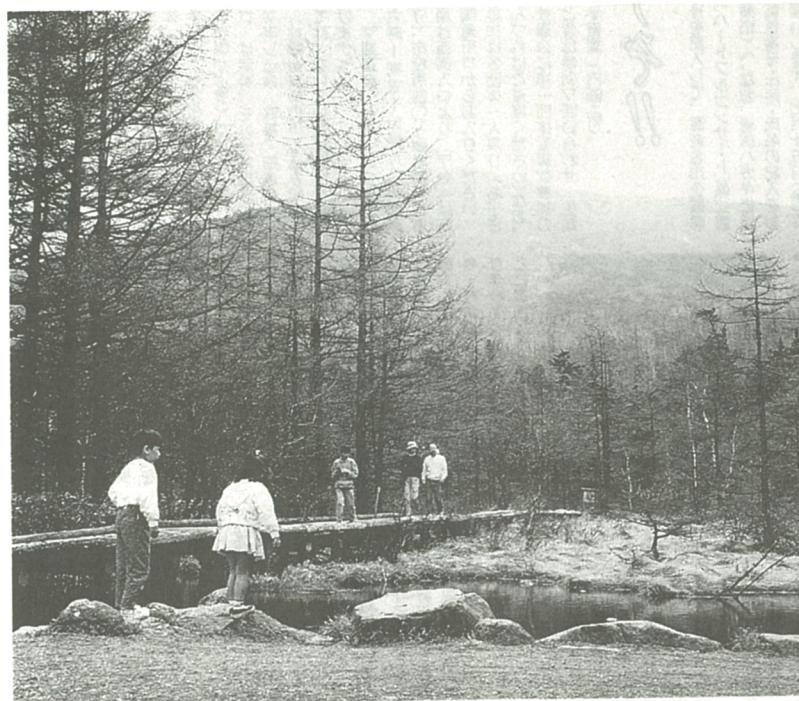


広報えびな

編集・発行
海老名市役所秘書広報課
〒243-04
神奈川県海老名市勝瀬175
☎ (0462) 31-2111

この広報は再生紙を使用しています。

大自然が呼んでいる!



御泉水自然園は高山植物や野鳥の宝庫

「えびな蓼科莊」の周辺には女神湖、蓼科牧場、御泉水自然園、白樺湖、霧ヶ峰高原などがあります。これから夏にかけて二ツコウキスゲが咲き誇り、秋には美しい紅葉が見られます。ぜひ、家族や仲間とおでかけください。

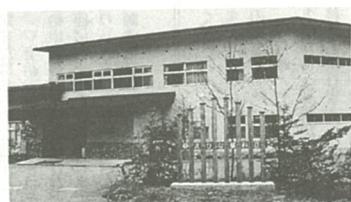
【一階】
六畳和室が一室、八畳和室が一室、十畳和室が四室、男子浴室、女子浴室があります。

【二階】
六畳和室が三室、八畳和室が一室、十畳和室が四室、男子浴室、女子浴室があります。

客室は十四室で、定員は五十人となってています。

長野県立町にある市民休暇施設「えびな蓼科莊」は、平成四年十二月にオープンして以来、多くの市民のみなさんご利用いただいています。四季折々に違った表情を見せる白樺高原で、のんびり過ごしてみてはいかがですか。

よこそ蓼科莊へ



蓼科莊を拠点に楽しいひとときを…

高原に一面の 黄色いジュウタン

【車を利用の場合】
中央自動車道の相模湖インターチェンジから入り、諏訪インターで降ります。(通行料金・普通料金・普通車3千円)。そして茅野有料道路(通行料金・普通車100円)を通り、大門街道または、ビーナスラインで、白樺木立の中を抜け、女神湖の近くにあります(所要時間・約3時間半)。

【電車・バスを利用する場合】
海老名駅から、相模線→横浜線→横浜線(町田乗り換え)か、小田急線→横浜線(町田乗り換え)で東白樺湖へ行き、小諸行きのJRバス、または千曲バスに乗り換えて、蓼科牧場で下車。

夏の高原を彩る華麗な花



ニッコウキスゲ

日本の北部・中部の高原に群生するユリ科の多年草で、7・8月ころに開花。花はユリに似て黄色で、昼間に開き夕方には閉じる一日花です。

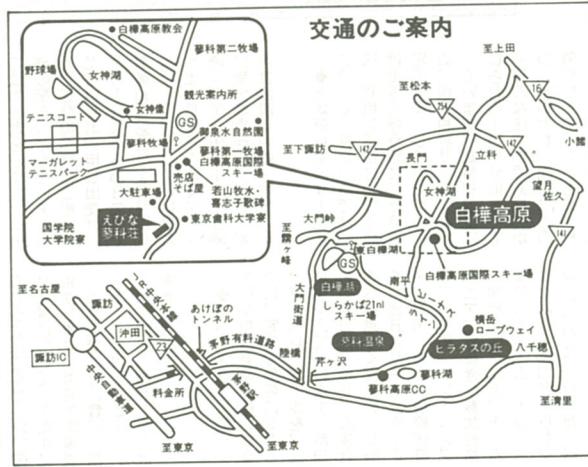
そこから徒歩十分で着きます
(所要時間・約4時間半)。
【車を利用の場合】
中央自動車道の相模湖インターチェンジから入り、諏訪インターで降ります。(通行料金・普通料金・普通車3千円)。そして茅野有料道路(通行料金・普通車100円)を通り、大門街道または、ビーナスラインで、白樺木立の中を抜け、女神湖の近くにあります(所要時間・約3時間半)。

【電車・バスを利用する場合】
海老名駅から、相模線→横浜線→横浜線(町田乗り換え)か、小田急線→横浜線(町田乗り換え)で東白樺湖へ行き、小諸行きのJRバス、または千曲バスに乗り換えて、蓼科牧場で下車。

帯は緑の森に包まれ、美しい高原植物には心を奪われてしまうほどです。市民のみなさんも、高原の太陽と風を体いっぱいに浴びて、家族や仲間とのふれあいを、心ゆくまで満喫してみてはいかがでしょうか。

「えびな蓼科莊」は、みなさんのおいでを、心よりお待ちしております。

(関連記事は4・5面に掲載)



市では、青少年のみなさんにとって、夏休み期間を利用しています。

生活を大いに楽しんでもらおう、今年も山北町の世附(よ

づく)川ロッジを定期開催します。青少年育成やグループ活動な

(土)・(日)・(火)・(水)・(木)・(金)・(土)

月四日(木)・六日(土)・八日(火)・十九日(金)・二十日(土)

午後1時半~2時半、午後1時半~4時半、午後1時半~4時半



伸生会 歌謡教室

相模川沿い十二市町の小学生

相模湖、相模川での楽しい遊び

や風景、印刷などが題材です

び学校名を書いて、各小学校ごとに提出(市外の通学児童は、

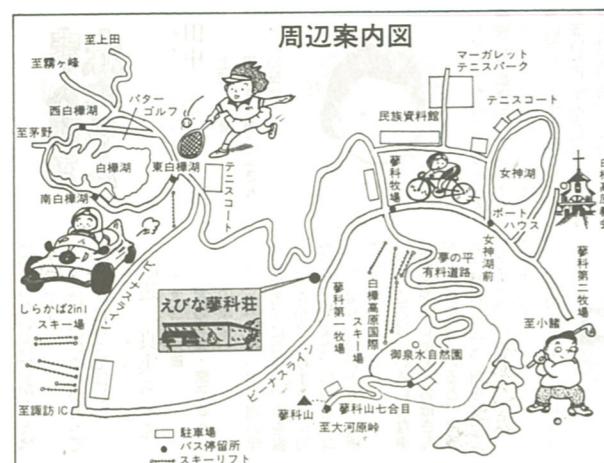
年度は三千五百六十点の応募

がありました。

宣言都市」として、さあまな

て、さあまな

で、さあまな



大賀かじつ

白樺湖

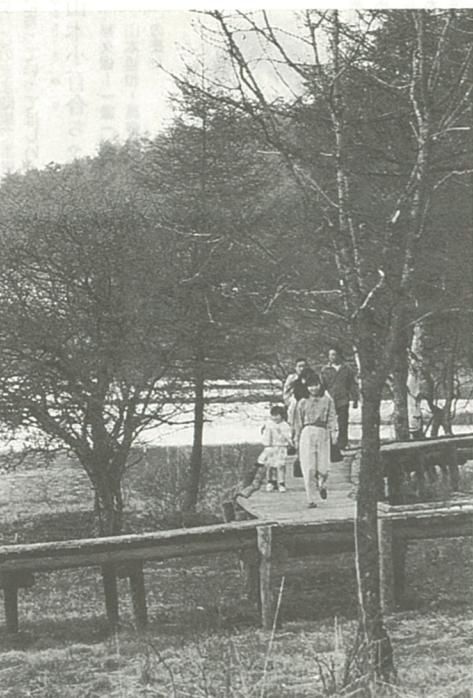
蓼科山の姿を水面に映す女神湖よりも、ふた周りほど大きな湖です。レンゲツツジが咲き誇る湖畔には、レストランやホテルが立ち並び、華やかなムードがあふれています。ポート、遊覧船、テニス、サイクリングといったレジャー施設はもちろん、バーテーコートなど家族そろって楽しめます。湖を周しても約二時間なので、のんびりとお利用の方には、「えびな蓼科莊」から車で十五分です。

ゴルフ場割引利用券も発行

「えびな蓼科莊」では、夏休みの間は、お申込みください。申込み方法は表記で確認を。予約は、利用日の三ヶ月前の同日から受け付けけています。

●「えびな蓼科莊」から車で十五分

ジャーやスポーツを家族そろって楽しめます。木々の緑まぶしい、大自然に囲まれたひとときを家族と仲間と過ごしてみてはいかがですか。



もちろんゴーカートも…(白樺湖畔)

(表II) 使用料金

利用区分	使用料	
	市内に住所又は勤務場所を有する者	その他の者
宿泊料	大人 2,500円	5,000円
	小学生 1,500円	3,000円
冬期加算料(1人1泊)	100円	200円

*宿泊料…午後4時から翌日午前10時まで。乳幼児は、無料です。

*冬期加算料…10月から翌年4月までの間です。

*1人で1室を利用するときは、宿泊料に1500円を加算します。

*食事料金は、1泊につき1人(夕・朝2食) 2000円です。

申し込み方法

施設利用の申し込みは、市内在住、在勤の方は利用日の3カ月前の同日から(ただし、市外の方は1カ月前の同日から)利用日の5日前までの間、3

●「えびな蓼科莊」から車で五分。



医師会の協力を得て

次の救急医療を行って

います。

☆休日の昼間

►内科・小児科 ▶場所=休日急诊診療所
(さつき町41、市健康センター内、☎31-1912)
▶受付時間=日曜・祝日の午前9時~11時半、午後2時~4時半

►歯科 ▶場所=休日歯科診療室 (さつき町41、市健康センター内、☎31-1939) ▶受付時間=日曜・祝日の午前9時~11時半、午後2時~4時半

※保険証、診察料を忘れずに。耳鼻咽喉科は市外の休日急诊診療所を紹介します。

☆夜間 ☎32-0108

☎32-0119

テレホンサービスで医療機関を紹介します。
または市役所 ☎31-2111

急病でない限り平日の昼間に

人間の一生は、身体的な特徴から、乳児・少年・青年・壮年などに分けられ、それぞれの時期に応じて、発生しやすい病気があります。この中で、高血圧症が代の壮年期には、糖尿病など、いわゆる成人病が発生しやすくなります。こうした成人病は、初期の段階、つまりその病気の芽が出始めます。この中で、手足の自覚症状は、ほとんど見つけ、摘み取ってしまったために、健診が必要となります。正しく治療せなければ、老年期にはさらに悪化し、ほかの臓器にも悪影響を及ぼし始めます。

7月の健康案内

早めに摘もう病気の“芽”

人間の一生は、身体的な特徴から、乳児・少年・青年・壮年などに分けられ、それぞれの時期に応じて、発生しやすい病気があります。この中で、高血圧症が代の壮年期には、糖尿病など、いわゆる成人病が発生しやすくなります。こうした成人病は、初期の段階、つまりその病気の芽が出始めます。この中で、手足の自覚症状は、ほとんど見つけ、摘み取ってしまったために、健診が必要となります。正しく治療せなければ、老年期にはさらに悪化し、ほかの臓器にも悪影響を及ぼし始めます。

健診は、体の異常の有無を調べ、異常が見つかれば、芽の段階で、あるいは手遅れにならない状態のうちに治療ができるといふ利点があります。

また、四十年以上付き合つての体の機能の変化を知ること



積極的に健診を受けて成人病を予防

きた自分の体の変化、言い換えると、老化がどの程度進んでいるかも、健診を受けることで、數値に表れて、視覚的に知ることができます。

健診を受けない人も少なくあります。健診は、体の悪い部分を探し出す、というより、自分が健康であることを確かめために行うものです。また、自分

で、その後の健康づくりに役立てることがあります。市では、四十歳以上の力を対象とした「基本健診」を実施しています。基本健診は、いろいろな指導をしています。

7月の内容は「七夕かぎりのいろいろ」夏の星座ペガサスをつくろう!水遊びをするおもちゃ作り!参加費は無料。参加希望者は直接会場へ。(なお、児童館は安全上保護者同

ども方をお預かりしていません)。問い合わせは保健相談センター(☎35-7880)予約を。

市民歯科相談

歯科医療全般についての相談を受け付けています。相談にのってくださるのは、市歯科医師会医師です。相談開設日は、毎月第一回、第一木曜日です。

▽会場 保健相談センターへ申し込み 電話で同センターへ予約を。

母親教室

母親教室は、産婦人科医師による定期的相談会です。相談開設日は、毎月火曜・木曜日です。

▽会場 保健相談センターへ申し込み 電話で同センターへ予約を。

市民歯科相談

歯科医療全般についての相談を受け付けています。相談にのってくださるのは、市歯科医師会医師です。相談開設日は、毎月第一回、第一木曜日です。



▲消防団員が水防訓練

出水期を前にした5月29日、市役所西側の催事広場で水防訓練が行われ、市内15分団の消防団員が参加した。参加者は梅雨や台風などの水害を未然に防止するため、土のう積みや木流し、シート張りなど、水防技術の習得に汗を流していた。

フォトピックス

5月29日、ふれあい農業の一環として、集団トマト温室（大谷300番地）で、トマト狩りが行われた。当日は、家族連れなどでぎわい、取ったトマトは廉価で販売された。

▼新鮮なトマトどうぞ



海老名むかしむかし

33・3838

電話で海老名の昔ばなしが聞けます。

6月10日～6月30日 第155話 前代未聞跡の大池
7月1日～7月21日 第156話 燃坊主

『珍プレー』も続出…▶

楽しいゲームを通じて交流を図ろう——と、5月29日、運動公園多目的広場で市老連の運動会が行われた。お年寄り自ら企画した種目に『珍プレー』も続出し、会場は笑い声が絶えなかった。



市の花「さつき展」に2500人▲

5月28・29日の両日、市役所1階ロビーで「第14回さつき展」が行われた。会場には、市さつき研究会の会員が丹精込めて育てたサツキ盆栽62点が展示されたほか、サツキ苗・盆栽の即売、栽培指導、苗の無料配布が行われ約2500人の市民でにぎわった。



大谷の中央・宿のT字路を谷戸の奥へ上がりつめた所は、古くから「辻」と呼んでいた。辻というのは、たいてい三つ辻か四つ辻であるのに、この辻は七つ辻だった。大谷を横断する東西古道が綾瀬市の早川五社神社の前から樽井山王塚を通って、原北に繋がる八王子街道が谷峰を通って、ここから杉久保に通じ、江戸初期に出来た古坂を抜けている。また、南北に繋がる八王子街道が谷峰を通って、ここから杉久保に通じ、江戸初期に出来た谷戸道が交差して、吉久保・鍛冶返に至っていたが、更にもう一本が真鯨の妙元寺裏を通つて、沖の坂へ通じて珍しい「七つ辻」を作つていた。

この辻を中心とした、ひとまとめりの人家を昔は、「辻の庭」と呼んだが、ここに平作という抜群の大男がいた。田舎のことだから、普段なら大平」とか「でか平」とかいうのが、大平は横柄に通じて語感が悪いし、でか平も品がないので、村の人たちは「沖平」と呼んでいた。

大谷では、大きなこととおつきい。という風習があり、これがつまつて、おきと発音するので、いつからともなく「沖」の当て字を使つようになってしまった。村で一番大きな庭は「沖の庭」と呼び、大きな庭は「沖の庭」と呼んだ例はたくさんあった。

さて、この大男の沖平が節分の日、昼食後すぐ戻るといつたが、それつきいつまでたつても帰つてこなかつた。だから下りの山王坂は、兩側の細よりも一段と低く川のようになつたので、雪が降ると吹きだまつて残る雪がある。雪の間は通行人は道路を歩かず、みんな土手の上を歩いたので、平行して煙のふちに自然に行つたが、それつきいつまでたつても帰つてこなかつた。

吹きだまりの深い所へ、滑り落とる子供では出られなかった。この大男の沖平が節分の日、昼食後すぐ戻るといつたが、それつきいつまでたつても帰つてこなかつた。

でも落ちたのではないとか、これまたわざかな距離なのにいくら捜しても沖平の消息はつかめなかつた。だから下りの山王坂は、坂を樽井の土橋まで下った熊王は、そこから引き返して、見当違いの崖上の細道を浜田へ向かつて走り出した。

熊王がもらわれてくる時、生家の主人が「お役目が済んだらいつで」と、わざわざ墓参りにきてくれたので、始めて熊王が生家へ戻っていることがわかつた。

当然の成り行きだった。山王坂を樽井の土橋まで下った熊王は、そこから引き返して、見当違いの崖上の細道を浜田へ向かつて走り出した。

熊王がもらわれてくる時、

意外に思ったが後を追つて、見えた。何人かが下へ回つて

田んぼのふちから近づいて見

て激しくほえた。様子を見ていた。

白木の位はいをくねて、

相模川を泳ぎ渡つて黒いものが

犬の話が、永く船頭たちの話

題になつたというが、紛れもなく熊王のことだろう。

海老名 むかしむかし

第328話

靈犬熊王のはなし(下)

いことがあるかもしれないが、大男の沖平がここに落ち出されないといふことは考へられないし、またすぐにわかるはずである。

同じ道を何度も往復して、出でる。それで、よく見つけたものだ。

だつて、より今更のように、熊王の想像を絶した能力に驚いた。

熊王に助けられた沖平は、どうしてあんな所を通つたのか? なぜ大谷とは一重の所なので、子供の足でも一時間もかかる。ゆつくり買い物をし、の名主が犬を飼わないというの申し合わせを、この犬限りという約束で飼つている利口な犬で、神隠しにあつた子供を捜し出したり、家を出た

雪の多い年で、背丈程もある吹きだまりが方々にあつたので、山王坂の吹きだまりに寄りを一の宮(寒川神社のある所)から連れ戻したりして、この犬の世話になるかもしれない。熊五郎は、主人の理衛門が亡いに届けるつもりで、近道を頼まれた品物を浜田の知り合いで帰れる距離であるのに、大谷の平作が日が傾いても帰つてこないので家族が心配して騒ぎだした。

男の平作が日が傾いても帰つてこないので家族が心配して、の名主が犬を飼わないというの申し合わせを、この犬限りという約束で飼つている利口な犬で、神隠しにあつた子供を捜し出したり、家を出た

雪の多い年で、背丈程もある吹きだまりが方々にあつたので、山王坂の吹きだまりに寄りを一の宮(寒川神社のある所)から連れ戻したりして、この犬の世話になるかもしれない。熊五郎は、主人の理衛門が亡いに届けるつもりで、近道を頼まれた品物を浜田の知り合いで帰れる距離であるのに、大谷の平作が日が傾いても帰つてこないので家族が心配して騒ぎだした。

男の平作が日が傾いても帰つてこないので家族が心配して、の名主が犬を飼わないというの申し合わせを、この